

# 岸田内閣の発足にあたって

令和3年10月4日

全国中小企業団体中央会

会長 森 洋

本日、岸田文雄自由民主党総裁が、第100代の内閣総理大臣に指名された。岸田新総理には、「聞く力」によるリーダーシップのもと、中小企業・小規模事業者の声にも寄り添いながら、成長の果実が多くの中企業・小規模事業者に届くよう、成長と分配の好循環による持続可能な目標を示して頂きたい。

新政権には、まず、コロナ感染症の「第6波」への備えも含めた各種医療対策やリスク管理の迅速かつ効果的な対応を行って、コロナ感染症の拡大阻止に努めて頂きたい。併せて、中小企業・小規模事業者、とりわけ飲食・宿泊・サービス業等の事業者や、これらの関連事業者は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を必死に受け止め、堪え忍んできた。こうした事業者の努力が一刻も早く報われるよう、これまで講じられた各種支援施策の継続・拡大に加えて、ワクチン接種証明等を活用した需要・消費喚起対策を、統計等の根拠をしっかりと周知し、事業者が安心して取り組むことができるよう、迅速・果敢に政策を推進して頂きたい。

更に、ウィズコロナにおける中小企業・小規模事業者対策、デジタル化・グリーン化等の日本の競争力を高める成長戦略、大企業との格差是正を図るための中小企業・小規模事業者の実態に即した分配施策に取り組んで頂きたい。

特に、地域の社会経済を支える中小企業・小規模事業者の事業活動の発展が、国民の雇用と所得の安定につながるものとする。中小企業の事業再構築・生産性向上、企業間取引のデジタル化、DX化、人材投資・投資促進税制など大規模な経済対策をお願い申し上げる。

中小企業組合等は、中小企業・小規模事業者の連携により、これまでも幾多の経済・社会環境の変革を乗り越えてきた。そうした経験と機能を生かし、各種施策の担い手として、組織的・効率的に取り組むことができる。中小企業団体中央会は、そうした中小企業組合等の支援者として、全力で取り組む所存である。